事例No.	2380
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	沖縄県名護市

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・地域運営組織 ・移住定住

事例種類	集落対策・集落支援員

事例内容・タイトル

旧村単位で配置した集落支援員活動

出典

集落支援員　最近の取組事例紹介　平成29年度

集落支援員～取組事例～②

高知県室戸市（むろとし）

（平成29年度：2名）

【概要】
・中山間地域に1名配置し、現在活動する地域おこし協力隊と連携しながら地域づくり活動を実施。

【活動内容】
・高齢者が栽培した野菜を集荷し、市内直売所へ代理出荷する「庭先出荷」を実施
・地域住民グループによる特産品作りを支援
・高齢者によるコミュニティ活動の運営支援

【ポイント】
・集落支援員自身も元地域おこし協力隊であり、当時の経験や地域とのネットワークを活用し、引き続き地域で幅広く活動している。



高知県安芸市（あきし）

（平成29年度：1名）

【概要】
・人口減少、高齢化が著しい畑山地域において、集落点検や高齢世帯の見守り等を実施。

【活動内容】
・住民が市職員等も交えて地域の課題を話し合う「まちづくり懇談会」をコーディネートし、住民と行政の間の話し合いを推進
・山間部の住民の家への声かけ、道路の異常の有無等の点検・報告

【ポイント】
・集落支援員の呼びかけにより、畑山地域出身者等により構成される「畑山山援隊」が組織され、交流施設におけるイベントが開催されるなど、地域外住民も交えた地域おこし活動につながっている。



大分県宇佐市（うさし）

（平成29年度：18名）

【概要】
・集落支援員が小学校区毎に設立された地域運営組織の中心メンバーとなって活動し、地域の将来像を描いた「まちづくり計画書」の策定や地域おこし活動に取り組む。

【活動内容】
・集落点検や、住民アンケートを実施し、「まちづくり計画書」を策定
・集落支援員同士の情報交換会の実施
・子育て支援、高齢者支援等の地域おこし活動

【ポイント】
・大学と連携してワークショップを開催し、地域運営組織の体制見直しや将来の人口分析、これまでの活動の振り返りなどを行い、引き続き、地域の将来像を描くための活動を行っている。



沖縄県名護市（なご）

（平成29年度：4名）

【概要】
・市域が広域であり、各地域の課題も多岐にわたることから、旧村単位で集落支援員を配置し、各地域の現状把握や課題解決の支援を行う。

【活動内容】
・各地域が行う、地域資源を生かした地域おこし事業の支援
・地域が行う移住受け入れの支援活動、移住後のフォローアップ
・各地域が地域づくり活動を円滑に行うための関係団体のネットワーク構築支援

【ポイント】
・持続可能な地域づくりのため、集落支援員自身が前面に立って企画運営を行うのではなく、住民主体の取組への支援を中心に活動している。



※人数は各市町村における専任の集落支援員の総数（特交ベース）であり、上記の取組以外の活動を行っている集落支援員も含まれる。